



バスラ日誌（5月22日）

- 1 お隣コンテナの警備中隊の人達は、昨日でコンテナを引き払い、テント地区へ引っ越して行った。あと6日（今日1日減って5日）で帰国できるということで、表情はとても明るい。「日本に帰れるのはいつ頃？」『あと2〜3ヶ月後と思う。』『まだ、長いね。』『また、どこかで会いましょう。』『食事には来るからまた食堂で会えますよ。』、そういう意味じゃないんだけど…。まあいいか。一時、かなりいけてるんじゃないかと勘違いした英語も、また壁にぶちあたったようで、業務の合間に少しずつ勉強しながら、さらなる向上の道を探っているところである。（学び、かつ戦う！）
- 2 多国籍軍団イラク（MNC-I）は、イラク・クウェート国境通過点サフワン及びMSRタンパを変更し、新国境通過点をカバリ・アラワゼム（K-Crossing: キーロ・クロッシング）に、MSRをアスペンに切り替える予定である。当初、7月31日から北上輸送車両はアスペンを、南下輸送車両はタンパを使用させ、MSRアスペンの輸送許容量をチェックするらしい。この際、民間契約輸送会社の操縦手については登録しておくことが必要となり、IDの交付を受けないとK-Crossingを通過できないとのことである。
9月1日からは、引き続き上記一方通行を維持するが、0500から1700までの12時間のみ使用を許可され、この時間以外イラク・クウェート国境を通過することはできないそうである。これが10月一杯までの2ヶ月間実施された後、完全にMSRはアスペンに変更され、11月1日からは、時間枠なしの双方方向通行となる。タンパについては、イラク南東部の基地間の輸送のみ、使用を許可されるらしい。
7月31日以降の道路使用、及び民間契約輸送会社の操縦手登録制度について、日本隊にも影響がでる可能性があるのでは報告する。ただ、MSRアスペンの建設状況によっては、日程の変更もあるとのこと。この件については、先日のMJLCで簡単な説明があり、MND（SE）も各別命令を出したので、詳細については、別途報告する。
- 3 本日快晴。バスラ4名、極めて健康。